

補習授業校情報交換会 #27

オンライン/ハイブリッド授業の知恵

各地の開始時刻

<6月6日>

アメリカハワイ11:00 AMアメリカ太平洋2:00 PMアメリカ山岳部3:00 PMアメリカ中部4:00 PMアメリカ東部5:00 PM英国ポルトガル10:00 PM仏・独・北欧等11:00 PM

<7日>

タイ・ベトナム等 4:00AM シンガポール・中国 5:00AM 日本時間 6:00AM キャンベラ 7:00AM ニュージーランド 9:00AM



本日の予定

- 1. 小グループの情報交換
- 2. 全体会
- ◆ これからの情報交換会 (リクエストは、ag5nsassa@gmail.com 佐々まで。)

#28「"ごほうび"の使い方」

アメリカ東部時間6月20日(日)午後5時/日本時間6月21日(月)午前6時

◆情報交換会の録画について

スタッフの反省材料とするため、ミーティングを録画をさせていただいておりますが、それ以外の目的でお見せすることはいたしません。ご理解をお願いいたします。

- ◆ 出席者と連絡を取りたいとき
- ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。
- ◆こちらもごらんください

過去の AG5 補習授業校情報交換会資料 https://www.ag-5.jp/post

AG5 ウェブサイト https://www.ag-5.jp

補習校教員交流 Facebook https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/

海外子女教育振興財団(JOES) https://www.joes.or.jp





- ・対面授業になっても使えるオンラインツール
- ・だれも置いていかないハイフレックス授業の方法。とくに対面 10 人・オンライン 1 人などの比率 が偏っている場合の授業設計。
- ・オンライン授業や対面時の ICT 導入において、便利なアプリや PC 周辺機器(現在ペンタブを購入するか否か検討中。その効果は?)
- ・オンライン授業での評価の工夫
- ・オンラインから対面に変更する際に準備したこと、大変だったこと、悩んだこと、またその解決案等を伺いたいです。
- ・低学年の授業対応の秘訣
- ・ハイブリッド授業の工夫について(1)コンピューター操作に慣れない先生へのサポート(2)オンライン参加者が疎外感を感じないようにする工夫
- ・複式授業兼ハイブリッド授業のコツ。
- ・「ここが聞きたい」の質問ではないのですが、「ハイブリッド授業」というのは、授業に対面で出席する生徒と、オンラインで出席する生徒両方がいる授業という意味でしょうか。
- ・先生方のテクノロジーに関する技術レベルはどこまでを期待すべきか。
- ・今更ですが、オンライン授業でどのようなアプリを、どのような授業の場面で使っていらっしゃるか、教えてほしいです。
- ・対面授業が始まった後の授業の行い方について、感染防止のための色々な規制の中で、実際にどのような活動が可能なのか、また効果的に使える活動は何か。引き続き PC を活用する事になれば、対面授業の時とオンライン授業ではどのような事が違うのか・・既に実行されている学校があればお聞きしたいです。
- ・Zoom 授業で子ども達の発話の機会を可能な限り増やす手立て
- ・2 学期から開校できるか未定です。米国はワクチン普及により、マスクや隣人との距離を取ることなど不要であるという方向に向かっています。もし対面授業が始まっても、「コロナ前」に戻ることは心情的にも難しそうです。衛生面での注意点や助言などをお聞きしたいです。
- ・今後恒久的にハイブリッド化するのであれば、どのような使い分けが考えられるか。通常対面とオンラインそれぞれの利点を活かした授業作りとは何か、皆様の知恵をお借りしつつブレインストーミングを期待しています。
- ・ごく少数ですが、対面授業に戻ると、地理的に参加できないご家族がいます。ハイブリッドだと、 運動会などの行事に参加できませんが、現在ハイブリッドをしている学校、これからする学校は、 そういう場合の授業料はどうしますか?また、講師の zoom 料金は、学校負担ですか?受講者負担 ですか?

- ・オンラインの生徒と対面の生徒の比率、対面をしながらどのくらいオンラインに対応できるのか。
- ・オンライン授業を楽しく行う方法、幼児もできるオンラインでのゲーム等
- ・ハイブリット授業の場合:対面で参加している児童・生徒とオンラインで参加している児童・生徒の両方が積極的に参加できるような授業の工夫について伺いたいです。
- ・教室に設置してあるデスクトップパソコン(外付けのカメラ)と電子ボードを使いながら、オンライン併用授業をしています。教室での出席者に PDF を見せながら、オンライン出席者に画面共有し、そのオンライン出席者の顔を見て授業をする方法を知りたいです。
- ・大学のように反転授業は難しいのではないかと思いますが、日時の工夫というとどのような工夫が可能なのでしょうか。(どこまでフレキシブルに対応することが可能なのでしょうか)



♣マーストリヒト ****

ドイツとベルギーからの登校してくる子どもたちがいるため、国境を越えて登校するに不安を抱いているご家庭のために、オンライン併用授業をしています。この授業体制は、校内でも必要なクラスと、そうでないクラスがあるため、すでにオンライン併用授業を行っている方々から、何かいいヒントを頂けたらと思います。 (横地紘子)

♣ビエンチャン ****

昨年度、小学3年生を担任しています時に、8月初めから3月末までの8か月間オンライン/ハイブリッド授業をおこないました。その時の様子などお伝えしたいと思っております。

…ハイブリッド授業について…

ビエンチャン日本語補習授業校教員 小川幸宣(現在小学1年担任)

ラオスのビエンチャン日本語補習授業校での私が昨年度小学 **3** 年クラスでおこなったことを参考資料として、紹介させていただきます。

昨年度、私の担任しました小学3年生クラスでは、4月から1学期末までは、全員オンライン授業でした。 2学期及び3学期は、日本からラオスへ戻って来られない児童へはオンラインで接続し、ラオス在住の児童は補習授業校の小3教室に通ってきて、小3教室の中で、オンライン接続の日本に在住しています児童と教室にいる児童とお互いに顔をみながら授業をおこないました。

ハイブリッド授業をおこなった方法としまして、パソコンの画面を HDMI ケーブルで教室の大画面テレビモニターに映し出しました。大画面テレビモニターのある教室が仕えなくなりますとプロジェクターを利用して、教室の前のホワイトボードに大きく映し出すようにしました。この場合、黒板として使えなくなりました。

そこで本来、黒板に書く内容をすべて事前にパワーポイントに入力しておき、画面共有をして、普通に声を出して授業をし、説明しながら、パワーポイントで1行(1つの説明文ごと)に黒板に書くのと同じように画面に表示し、最後に重要な部分を赤色に変えて、「←大切」という言葉も表示させました。

練習問題をさせて答えを児童が発言する時や、教科書を音読する時は、画面共有をやめ、教室の児童とオンライン接続の児童全員の顔が見えるようにして、児童に発言や音読をさせました。オンラインの児童には、発言する時だけマイクをオンにさせ、発言や音読が終わるとマイクをオフにするようにしました。このことで、ラオスの補習校へ登校している児童と日本からオンラインで参加している児童とがお互いに一緒に学んでいるという一体感を持つことができました。

児童に発言させたい部分はパワーポイントの白紙のページを事前に何か所かを授業計画に応じて入れてお

き、オンラインと対面学習の児童の発言をその場で教師がまとめて書きこみました。ローマ字学習の後は、 対面の児童もオンライン接続の児童も含めて、各児童に書き加えさせることも時々しました。

また、気分転換を含めて教科書会社の Web ページや他の教科書会社の Web ページに参考になる動画がたくさんあり、YouTube にも授業に参考になる動画がありましたので、授業の真ん中あたりに動画を見せると集中力も切れずに最後までしっかりと学習できました。授業の真ん中あたりに動画を見るようにしたのは、小3の児童の集中力がハイブリッド型のオンライン授業では20分程度しか持たなかったからです。45分の授業の間に動画教材を取り入れることで楽しく最後まで授業をすることができました。

なお、パソコンのスピーカーとマイクでは教員の私の声は聞こえても教室の児童たちの声がオンラインの 児童に声が聞こえず、オンラインの児童の声が教室の児童に届かないということが最初の1回目でありま したので、2回目からは、オンライン会議用のマイク&スピーカーを取り付けて教室の中央に置くことで、 お互いに声が聞き取れないということを解消させることができました。

また、オンラインで授業を受けている児童には「●●の長さを計ってきて発表してください」(算数)とか、「一番大切にしている物を持ってきてのを探して持ってきて大切な理由を発表してください」(国語)というように、パソコンやタブレットの前に座っているだけでなく、オンラインでも授業に積極的に参加していると感じられるように、授業の中で動いて何かをさせるということも考えて授業をしました。

休み時間には、日本から授業に参加している児童と教室にいる児童がお互いに自由に交流できるように全員が画面に映るようにして、教室の児童もオンラインの児童も全員の顔が見えてお話や遊びができるようにしました。この時に時々ホワイトボードの共有(オンラインの児童も教室の児童も書き込めるように設定)で、オンラインの児童も教室の児童も自由に書き込んでもいいようにしました。この時に特に面白いと感じたのは、休み時間に、ホワイトボードに対面の児童とオンラインの児童がテーマだけを決めて一緒に絵を描いた時です。お互いに友達がどんな線や模様を書き込んでくるのかわからないので、想像しながらそれぞれが描いていって一つの絵に完成できた時です。

参考になりますかどうかわかりませんが、昨年度のオンライン授業児童と登校児童が教室で一緒に授業を 受けるようにした時の様子です。なお、ビエンチャン補習授業校は、火曜日と木曜日と土曜日の週に3日 間の授業をしております。

【機材について】参考までに機材についてですが、児童は全員が前のホワイトボードが見えるように座り、 私は教室の児童とノートパソコン上にいるオンラインの児童に向かって授業をおこなった場合ですが、基

本的にはノートパソコンと HDMI ケーブルは必要です。ミラーリング機能がついていれば、HDMI ケーブルを使わなくても可能です。大画面のテレビがあればいいですが、なければプロジェクターとホワイトボード(白の模造紙を前に貼るだけでも可能)、オンラインの児童の声が教室のどの席に座っている児童に聞こえるように、また教室の児童の声をオンラインで授業を受けている児童にも聞こえるためには、オンライン用のマイクとスピーカーがセットになった機材が必要です。私は小さいですが結構音を拾ってくれるこのマイク&スピーカーを使っていました。



補助的にタブレット(iPad)を使ってミラースクリーン機能を使ったり右の写真のような iPad から HDMI ケーブルをつなげるための変換器を使ったりしていました。これは特に国語で教科書に QR コードが書かれていますので、iPad で読み取って教科書会社のリンク先、主に動画や音声や説明の図や写真を見せるのに使いました。補助カメラとしても使えます。特にタブレットでなくてもスマホや iPhone に対応したHDMI ケーブルをつなげるための変換器も売られています。



この程度の機材があれば、簡単にハイブリッド授業ができます。もちろん、教室に Wi-Fi が来ているかインターネットに接続している必要がありますが、なくてもスマホや iPhone を Wi-Fi のパーソナルスポットをオンにすれば、そこから出る Wi-Fi を使えば、オンラインに対応できます。

【教員が教室に来れない場合】これは、特別な場合ですが、年度替わりに新しい教員が渡航してきてホテル隔離期間中であったり教員の家が COVID-19 の外出禁止地域になってしまった場合、運営委員や保護者の都合のつく方に教室に来ていただいてパソコン等の設置や電源を入れたりという操作やトラブル時の対応をお願いして、同様にオンライン授業をすることができます。ただし、私のクラスではありませんでした。こういう場合に備えてボランティア教員として登録していただいています。

【参考になりそうなリンク】私は児童が全員前に向いてのハイブレッド授業をしましたが、中央をあけて、 外側に四角く机を並べて授業をされている大学の先生の公開されているブログがありましたので、参考に リンクを掲載しておきます。

対面+オンライン同時進行=ハイフレックス授業

https://chekosan.exblog.jp/30520404/

(↑機器の配置方法や設置位置が詳しくわかります)

他にも「ハイブレッド授業」や「ハイフレックス授業」で検索しますと様々な方法が書かれた Web が見つかりますので、検索されると参考になると思います。

文責 ビエンチャン日本語補習授業校教員 小川幸宣(おがわゆきのぶ)

~ 補習校に おける ハイブリッド授業の アイデア ~

ロチェスター日本語補習校 山岸知美

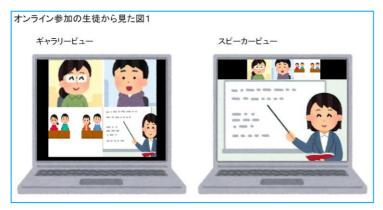
来学期に向け、対面授業ができるかもしれないという淡い期待のもと、様々な理由で教室に来ることが難しい生徒さんに対しては、引き続きオンラインでの参加が可能になるようにとその方法を考えています。

一番気を配るべきはいかに教室で参加している生徒とオンライン参加の生徒の双方に同様の学習環境を提供できるかというところだと思います。

以下に述べる方法では、コンピューターを二台とプロジェクターを一台使いますが、今のところ、これらの機材が補習校の各教室に配備できるという確証はありません。あくまで私の大学での経験からこのようにしたらいいのではというアイデアでしかありませんが、さらに皆様のお知恵をお借りしながら、より実現可能な方法を導き出せたらと思っております。









公立学校のハイブリッド式クラス

幼稚部年中組主任 スコットいずみ

現地公立小学校教員です。ハイブリッド授業をお考えの補習学校へ ハイブリッド式クラスの様子を簡単にご説明致します。ご参考になればと思います。

(学年/公立学校キンダーガーデン)

なお 小学校高学年、中学、高校は多少違う形式かと思いますが ハイブリッド授業は教員 2名の クラスが多いです。(2名いないといけないという規則ではありません。)

教室備品

- *教員コンピュータ
- *プロジェクター 及びスマートボード(教員コンピューターと接続する)
- *ドキュメントカメラ



*机は間隔をあけ ひとつの机には 生徒 4 名まで



生徒用の卓上透明シルド/スニーズグラス(ソーシャルデイスタンスを保ち 隣と息を吹かないよう)

授業体制

教員2人

対面生徒6人

オンライン授業生徒14名(午前9名 午後5名)

主任教員は オンライン授業生徒と対面生徒と授業を並行して行うため 対面授業生徒が見える位置 教室前プロジェクター横で授業を行う。

アシスタント教員は 主に対面授業生徒のサポートをする

サポート内容(登校、下校の手伝い。朝食、ランチの手配。手洗い付き添い。特別科目授業付き 添い。対面授業中の生徒からの質問応対など)

授業内容はオンライン授業内容と同じ授業計画書を使う。

キンダーガーデンの1日(月ー木曜日ハイブリッド授業。金曜日、全学年オンライン授業)

	対面授業生徒	オンライン授業生 徒	
8:00-8:50 朝の会		(ロッグイン) オンライン	
10分休み	8:45 対面授業生 徒登校	オンライン	
9:00-9:50 算数	オンライン		
10分休み 10:00-10:50 英語	オンライン	オンライン	
10:50-11:20 特別科目	対面	オンライン 11:20 終了 (ロッグオフ)	午前オンライン生 徒は授業終了
11:20 昼食	クラスにて		
12:00-12:50 午後の会	オンライン	オンライン 12時 午後オンラ イン授業生徒 (ロッグイン)	12時 午後オンラ イン授業生徒はじ まり
10分休み 1:00-1:50	外遊び 及び 室内自由遊び	算数オンライン	

10分休み 2:00-2:50	教室内で朗読,学 習玩具等	英語オンライン	
2:50-3:20	下校準備	特別科目オンライン 3:20(ロッグオフ)	対面生徒下校バス停に送る

♣ニューポートニュース ****

私が担当する補習校 6 年の中に「現地校で使ったことがある」という生徒がいた Nearpod を紹介します。現地校の先生も使っていると聞いた二アポッドのリンクです。

https://nearpod.com/

- ・教員アカウント(Free)で作ったスライドのリンクコードを授業中に生徒と共有すると、インターネット画面を使って、コラボレーションボードや動画鑑賞、クイズなどを生徒と同時進行で使用できます。
- ・Google や Microsoft のアカウントと連動させなくても単独でアカウントの所有ができるので、私用のクラウドフォルダー内に保存することなくスライド作成や保存が可能になります。

(モース結子)

(参考リンク) ------

ペアデック

https://www.peardeck.com/administrators

ハイブリッド授業トライアル(ピッツバーグ)

https://www.ag-5.jp/cms/ag5/common/pdf/theme4/210404jouhou23.pdf

新型コロナウィルス感染症流行時における児童生徒の登校および欠席の方針(ジュネーブ) https://www.ag-5.jp/cms/ag5/common/pdf/theme4/0924GeneveHoushin.pdf

登校に関わる補習校ルールと感染予防(ブラッセル)

https://www.ag-5.jp/cms/ag5/common/pdf/theme4/200827Brusselkimari.pdf

オンライン授業に関しては「発表ブース」に多数の報告をいただいています。

https://www.ag-5.jp/post